

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身やご家族の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 慢性副鼻腔炎粘膜における好酸球 EETosis の形態学的解析 —免疫染色および NanoSuit-CLEM 法を用いた検討—
	●研究の対象 2018 年 1 月 1 日から研究機関の長による実施許可日前日までに、浜松医科大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科で慢性副鼻腔炎に対して手術を受け、HE 標本、免疫染色標本、パラフィンブロック等の既存病理標本が保存されている 18 歳以上の方（最大 150 名程度） なお、本研究では、今後、慢性副鼻腔炎または肥厚性鼻炎に対して手術を受ける患者さんから、通常診療の手術で切除される鼻腔ポリープや下鼻甲介粘膜を研究に利用する場合があります。この場合には、研究内容について別途説明を行い、文書による同意を得た上で研究を実施します。研究のために新たな組織採取や採血を追加することはありません。
	●研究の目的 慢性副鼻腔炎の中には、好酸球という白血球が強く関わるタイプがあり、手術後にも再発しやすいことがあります。好酸球は、EETosis（イートーシス）と呼ばれる細胞死を起こす過程で、DNA を含む構造や顆粒と呼ばれる小さな構造物を細胞の外に放出し、炎症や組織障害に関与する可能性があります。 この研究では、過去の手術で採取・保存されている鼻茸や副鼻腔粘膜の病理標本を用いて、一般的な病理染色、免疫染色、NanoSuit-CLEM 法による電子顕微鏡観察を行い、EETosis や好酸球顆粒の放出の特徴を詳しく調べます。また、これらの所見と、血液検査、CT、嗅覚評価、喘息等の臨床情報との関係を調べ、慢性副鼻腔炎の病態をより詳しく理解することを目的とします。
	●研究の期間

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	研究機関の長による実施許可日から 2031 年 7 月 31 日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 試料：手術時に採取され、当院で保存されている鼻腔ポリープ・副鼻腔粘膜の HE 標本、免疫染色標本、パラフィンブロック等、診療で採取した血液等 情報：年齢、性別、診断名、既往歴、治療歴、アレルギー歴、血液検査結果、病理所見、画像所見等、鼻腔内所見等
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 研究機関：浜松医科大学 加納康太郎
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	国立大学法人浜松医科大学
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《資料の入手 または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示 》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ 先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 担当者： 加納康太郎 TEL： 053-435-2111 E-mail： 07486369@hama-med.ac.jp